

## 2 小学校中学年の指導例（2）

- ◆ **主題名** ふるさとと世界遺産 指導内容 C [伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度]  
資料名 明神山から (王寺町郷土資料④ 王寺町教育委員会)

- ◆ **ねらい**

奈良県など身近にある世界遺産のことをもっと知りたくなった主人公の心情などについて話し合うことを通して、郷土の伝統を継承していくことの大切さを理解し、郷土や我が国の伝統と文化に関心をもち、親しもうとする心情を育む。

- ◆ **展開のあらまし**

| ○主な発問 ・予想される児童の意識   | 指導上の留意点   | 備考     |
|---|---|--------|
| <p>○ 奈良に住んでいることを誇らしく思えたヨシトにとって、これまであたりまえのように見ていた法隆寺がどんなふうにも思えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で初めて世界の人々に認められたすごい建物だったんだ。</li> <li>・法隆寺をちゃんと見ていなかったな。じっくりと見に行きたくなった。</li> <li>・法隆寺や斑鳩の里のことをもっと調べて、いろんな人に教えたいな。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 世界遺産が世界共通の財産として登録されているものであることや、日本全体で23件あるうちの3件が奈良県にあることなどを押さえ、奈良県に住んでいることを誇らしく思い、法隆寺を改めて知り直した主人公の心情に共感できるようにする。</li> </ul>   |        |
| <p>○ お母さんの話を聞いて、ヨシトが世界遺産のことをもっと知りたくなったのはどうしてだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明神山から五つもの世界遺産を見て、実際に行って詳しく知りたいと思ったから。</li> <li>・昔から人々がずっと大切に守ってきた自然や建物のことを知りたいと思ったから</li> <li>・当たり前のように見たり行ったりしていた自然や建物が、世界遺産として大切にされていると知ったから。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 明神山から見ることでできる世界遺産について、風景を拡大して提示するなどして確認し、主人公の心情に共感できるようにする。また、世界遺産は、それを昔から大切に守ってきた人々がいたからこそ現在まで残されてきたものであるという母の話を手掛かりに、主人公の考えたことについて話し合うようにする。</li> </ul>  | 風景の拡大図 |
| <p>◎ 明神山が日本遺産の一つとして認定されるまでに、多くの人々の努力がありました。認定に努力した人々は、どんなことを願っていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明神山のすばらしさを多くの人に知ってもらいたい。</li> <li>・たくさんの方が明神山に来て、奈良県の世界遺産などを見渡して楽しんでほしい。</li> <li>・王寺町に多くの方が来て、明神山だけでなく王寺町にあるすばらしさを知ってほしい。</li> <li>・明神山や王寺町を好きになってほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 日本遺産が、その地域の魅力を広く伝えることなどを目的に文化庁により認定されることなどについて補助的に説明し、地域を愛しその活性化を願う人々の心情に共感できるようにしたい。社会科等での学習の後に本学習を行うなど、他教科等との関連を図って取り組むとよい。</li> <li>◆ ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。</li> </ul> | ワークシート |
| <p>○ あなたは、自分の町のどんなよさを多くの人に知ってほしいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・達磨寺や雪丸像、SL公園があること。</li> <li>・交通の便がよくて、大阪や奈良県のいろいろな町に行きやすい。</li> <li>・あいさつプラスワンなど、人々が互いになかよくしようとしている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ これまでの学習や生活を振り返り、感じたり気付いたりした町のよさについて話し合い、町の伝統や文化が大切に継承されてきたことを理解し、自分たちもまた大切にしていこうとする心情を高めるようにする。</li> </ul>   |        |

※ 展開のあらましに加え、導入として教材への興味喚起や追究する課題把握ができる活動等を、終末としてさらに見方や考え方を広げ深めるような説話や学習の振り返り等を行うなど、教材やねらい、児童の発達段階等に応じて指導を工夫したい。